

みなみぶらの 社協 つうしん

第 64 号 (2010年5月)

ボランティアサークル
“アネモネ”



土曜日の午前中、特別養護老人ホーム一味園で売店ボランティアを行っています。アネモネの花ことばは内に秘めた美。

緊張した心がゆるみ安定感をもたらすとともに、ゆったりとした気持ちになれば疲れがいやされる。活動を通してそのような気持ちになれますよ！

町民の立場に立った福祉サービスの充実を目指して！！



ふれあいネットワーク

社会福祉
法人

南富良野町社会福祉協議会

TEL 0167-39-7711 / FAX 0167-52-3711

会長あいさつ



南富良野町社会福祉協議会

会長 東 雅 雪

我町にもようやく本格的な春が訪れて参りました。

日頃、私共社会福祉協議会の事業運営につきまして、町行政、町議会、地域住民の皆様、そして渾身のボランティアにご協力いただいている多くの皆様方の特段のご理解とご支援を賜り、計画どおりに事業が進んでおりますことに、心より厚くお礼を申し上げます。

さて私事、任期満了に伴う役員改選で再び会長の任に就くことになりました。

もとより微力ではございますが、町民の皆さんのお力添えをいただきながら、課せられた使命を深く認識して、しっかりと担っていきたいと考えておりますので、今までも増してのご指導、ご鞭撻を賜りますようお願いを申し上げます。

私共社会福祉協議会は、地域福

祉の充実を願い様々な事業の取り組みをさせていただいておりますが、今年度からは、高齢者生活福祉センターくるみ園を町より指定管理者の指定を受けて運営していくことになりました。

このことにより、本町の在宅型福祉サービス全般についての取り組みをさせていた、だくことになり内容も広範多岐となつてきておりますが、より効率的、効果的なサービスの提供を図るために、役員一丸となつて求められている役割を果たしていく所存でございます。皆様方が、いつまでも安心して生きがいのある豊かな暮らしがでいる福祉の町づくりを目指して、心新たに取り組んでまいりたいと考えておりますので、今後ともよろしくご理解、ご協力をくださいますようお願い申し上げます。挨拶いたします。

任期満了に伴う 新理事・評議員選任

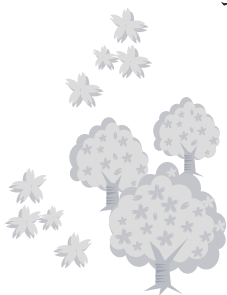
平成22年3月31日をもって、社協理事並びに評議員が任期満了となるため、3月23日の理事会、3月29日の評議員会においてそれぞれ新理事・新評議員が選任されました。また4月1日、第1回の理事会で正副会長の互選が行われ、

会長には東雅雪氏、副会長には、菅原勝夫、三橋基晴両氏がそれぞれ選任されました。

また、理事で退任されました大野制氏、齋藤忠宏氏、秋元キミ子氏、評議員の岩永かずえ氏、俵彩子氏、高橋萬氏、福澤廣成氏、鬼塚直樹氏、東雅春氏、上林康政氏には在任中、社協活動に大変ご尽力を賜りましたこと、紙面ながら改めて厚くお礼を申しあげま

すとともに、今後とも健康に留意され、引き続き地域活動にご活躍をお願い申し上げます。

なお、新たに理事として西山雅明氏、後藤治子氏、石井健治氏、評議員に津田保治氏、土濃塚五郎氏、久保田貞子氏、齋藤忠宏氏、中村寿男氏、佐々木智一氏、大野制氏、高橋秀樹氏にご就任いただきましたことをご報告いたします。また、社協の各部会の構成も新たな委員によって構成され、具体的事業の推進が図られて参ります。



● 役員名簿

役職名	氏名	地区名	所属団体等
会長	東 雅 雪	下金山	住民組織(下金山地区) 再任
副会長	菅原 勝 夫	幾 寅	住民組織(幾寅地区) 再任
副会長	三 橋 基 晴	落 合	住民組織(落合地区) 再任
理 事	岩 永 広一郎	北落合	住民組織(北落合地区) 再任
理 事	清 水 一 文	金 山	住民組織(金山地区) 再任
理 事	川 井 稔	金 山	民生委員協議会 再任
理 事	松 井 美 世	幾 寅	民生委員協議会 再任
理 事	加 藤 哲 夫	幾 寅	老人クラブ連合会 再任
理 事	後 藤 治 子	幾 寅	婦人団体 新任
理 事	西 山 雅 明	幾 寅	教育機関 新任
理 事	石 井 健 治	幾 寅	福祉機関 新任
常務理事	森 敏 範	幾 寅	学識経験者 再任
監 事	佐 藤 茂	幾 寅	学識経験者 再任
監 事	高 松 昌 弘	幾 寅	学識経験者 再任

● 評 議 員

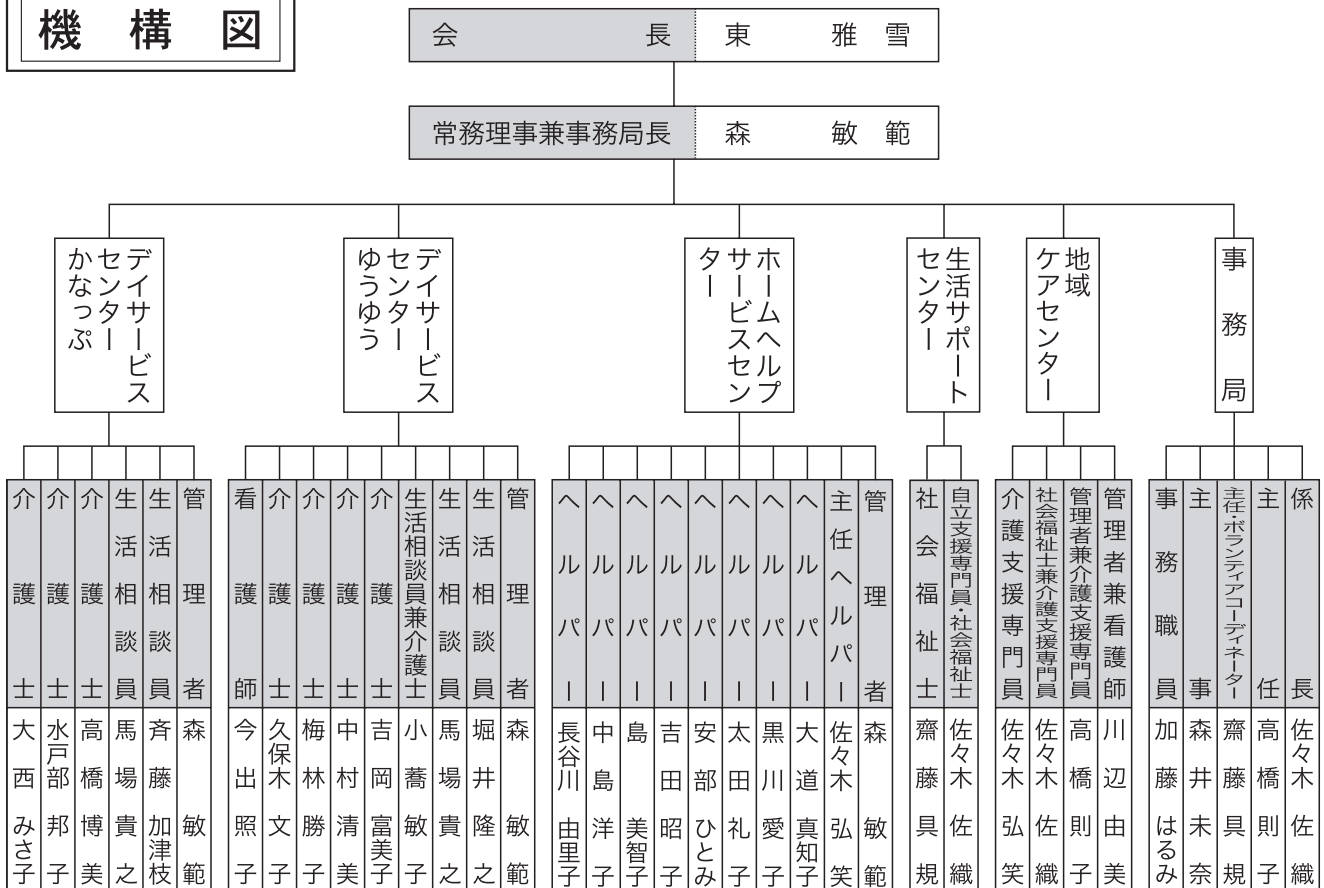
地区名	氏名	所属団体
下金山	武 田 正 明	住民組織
金 山	高 岡 泰 彦	//
幾 寅	山 内 茂 樹	//
落 合	阿 部 輝 宣	//
北落合	十 河 和 幸	//
東鹿越	高 橋 逸 郎	//
下金山	津 田 保 治	ボランティア運営委員
金 山	大 居 喜 久 子	民生委員協議会
落 合	渡 邊 富 美 子	//
金 山	増 田 カツ子	//
下金山	平 野 清 司	社会福祉団体
落 合	佐 藤 清 次 郎	//
幾 寅	奥 田 和 美	//
幾 寅	新 田 信 一	//
幾 寅	土 濃 塚 五 郎	//
北落合	久 保 田 貞 子	婦人団体
金 山	齋 藤 忠 宏	教育関係
幾 寅	黒 田 和 市	青年団体
幾 寅	中 村 寿 男	農林商工関係
幾 寅	池 部 英 明	//
幾 寅	佐 々 木 智 一	労働関係
幾 寅	大 友 忠 雄	町防犯交通関係
幾 寅	大 野 制	社会福祉施設
幾 寅	杉 村 博 史	//
幾 寅	下 田 雄 一 郎	医療関係
幾 寅	高 橋 秀 樹	福祉行政関係
幾 寅	大 道 松 枝	//

● 第三者委員

地区名	氏名
金 山	川 井 稔
落 合	渡 邊 富 美 子
幾 寅	山 名 賢 一



機 構 図



平成22年度主要事業概要

基本方針

少子・高齢化社会の進展や家族形態の多様化、社会福祉諸制度の改革等により、社会福祉に対するニーズは複雑・多様化し、公的な福祉サービスや現行の仕組みだけでは対応できない福祉課題が生じています。このような中、地域福祉を推進する社会福祉協議会の役割・活動はますます重要となっております。地域住民、行政、関係団体等と密接に連携・協働し、暮らしのあらゆる場面で起こりうる生活課題に対応できる、住民相互の新たな支え合い活動を展開できるよう、地域の絆を強めながら「誰もが、いつまでも安心して生活できる地域」の構築を目指し、各事業の推進に努めて参ります。また、介護保険制度や障害者自立支援法など様々な福祉制度や経済社会の変化に適切な対策を講じていくとともに、利用者本位の安定、継続したサービスが提供できるよう住民目線で積極的な事業推進に努め、各関係機関との連携を図りながら地域包括ケアの確立を推進して参ります。

1 地域福祉、在宅福祉の総合的推進

(1) 地域福祉対策事業

- ① 小地域ネットワーク活動推進事業
- ② 生活サポートセンターの運営(地域支援事業)
- ③ 第4期地域福祉実践計画の策定
- ④ 子育て支援事業
- ⑤ 共同募金運動の推進
- ⑥ 福祉スポーツ大会の開催
- ⑦ 社会福祉大会の開催
- ⑧ 「ふれあい広場」の開催協力
- ⑨ 高齢者お節料理贈呈事業(歳末たすけあい運動)
- ⑩ 生きがい支援事業
- ⑪ 福祉資金貸付事業

(2) 在宅福祉サービス事業(町受託事業)

- ① 配食サービス事業
- ② 除雪サービス事業
- ③ ホームヘルプ等サービス事業
- ④ 寝具洗濯乾燥消毒サービス事業
- ⑤ 生きがい活動支援通所事業(地域支援事業)
- ⑥ 外出支援サービス事業

(3) 相談支援事業

- ① 心配ごと相談所の開設(生活サポートセンター)
- ② 福祉関係団体支援事業

(4) 町老人クラブ連合会の活動支援及び助成

- ① 町母子会の活動支援及び助成
- ② 町身体障害者福祉協会の活動支援及び助成
- ③ 町赤十字奉仕団の活動支援及び助成

(5) 戦没者慰霊対策事業

- ① 戦没者追悼式の開催(献花式)
- ② 町遺族会の活動支援及び助成

2 ボランティアセンター事業の充実

- ① ボランティアセンターの運営
- ② ボランティア協力校への支援、協力

3 介護保険事業の推進

- (1) 地域ケアセンター事業
- ① 地域包括支援センター事業
- ② 指定居宅介護支援事業

資金収支予算書

● 一般会計

【収入】		【支出】		単位：千円
会費	810	人件費	66,715	
寄付金	800	事務費	4,498	
町補助金	17,200	事業費	34,540	
道社協助成金	37	共同募金事業費	925	
町受託金	36,026	助成金	525	
自立支援費等	799	その他	4,910	
介護保険等	44,055			
共同募金配分金	927			
その他	6,885			
計	107,539	計	112,113	
財務積立預金取崩	4,560	積立預金等	3,175	
計	4,560	計	3,175	
予備費			100	
当期資金収支差額			-3,289	
前期末支払資金残高			11,500	
当期末支払資金残高			8,211	

● 公益事業会計

【収入】		【支出】		単位：千円
助成金	3,000	人件費	3,600	
利用料	1,600	事業費	1,333	
その他	1			
計	4,601	計	4,933	
当期資金収支差額			-332	
前期末支払資金残高			550	
当期末支払資金残高			218	

6 受託事業

- (1) くるみ園事業
- ① くるみ園指定管理運営事業

5 福祉有償運送事業の実施

- (1) 福祉移送サービス事業
- ① 福祉移送サービス事業

4 障害福祉サービス事業の推進

- (1) 相談支援事業
- ① 指定相談支援事業
- (2) 居宅支援事業
- ① 指定居宅介護事業(ホームヘルパーの派遣)

3 通所サービス事業

- (1) 指定通所介護及び指定介護予防通所介護事業(デイサービスセンターの運営)

(2) 居室サービス事業

- (1) 指定訪問介護及び指定介護予防訪問介護事業(ホームヘルパーの派遣)

8 理事会・評議員会の運営

- (1) 理事会及び部会の開催
- ① 理事会の開催
- (2) 評議員会の開催
- ① 評議員会の開催
- (3) 監査の実施
- ① 定期監査

7 社会福祉協議会活動・組織の強化

- (1) 社会福祉協議会活動・組織の強化
- ① 内部体制の連携強化
- ② 福祉基金の活用
- ③ 社協会員の拡大
- (2) 役員研修事業の推進
- ① 各種研修事業
- (3) 普及・啓発活動
- ① 広報誌の発行

(2) 特別支援学級支援事業

- (1) 特別支援学級支援事業
- (3) 施設管理事業
- ① 保健福祉センター管理事業

職 員 紹 介

川辺 由美です。



4月1日付けで、町から社会福祉協議会へ派遣され、地域包括支援センターで勤務することとなりました。3月まで、特別養護老人ホーム一味園で、施設内のお年寄りと長く関わって来ましたが、これからは、在宅の65歳以上の方々のお手伝いをさせて頂くことになりました。不慣れなことが多いとは思いますが、何卒よろしくお願いたします。

地域包括支援センターは高齢者の皆様が住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を続けていくための相談窓口です。65歳を過ぎて、「心配なこと、困ったこと」と思うことがございましたら、お気軽にご相談ください。すぐにお話を伺いに参ります。

お気軽にご相談ください。



馬場 貴之です。



4月1日付けで、役場からの派遣により社会福祉協議会・生活相談員としてデイサービスセンターにて勤務しております。以前は特別養護老人ホーム一味園で介護士として勤務しておりましたので、その経験も活かしつつ、ご利用者の皆様のために努めて参りたいと思っております。

また、老人ホームとは違った雰囲気の中で毎日新鮮な気持ちで、やりがいと責任の重さを感じながら働かせていただいております。

福祉関係機関の皆様、町民の皆様には、ご迷惑をお掛けすることもあるかと思っておりますがご指導の程よろしくお願い申し上げます。

小地域ネットワーク会議

3月24日、小地域ネットワーク活動を行っている町内会を対象に、平成21年度小地域ネットワーク推進会議を開催しました。

2月に実施した座談会の際に作成した福祉マップを活用し、町内のどこに支援を必要とする人が住んでいるか、社会資源はどのように存在しているかを確認しました。

また、平成22年度からサロンの実施を検討しているネットワークより報告をいただき、活動の理解を深めました。

そして、講義として旭川大学保健福祉学部 白戸一秀教授を講師に、「誰もが、いつまでも安心して生活できる地域」をテーマに、地域コミュニティを作るうえでの、現状・課題、方向性をわかりやすく説明いただきました。



高次脳機能障がい研修会

5月7日、南富良野高等学校を会場に高次脳機能障がい研修会を開催しました。講師に国立成育医療研究センターリハビリテーション科医長 橋本圭司氏を招き、南富良野高等学校の生徒・先生、町内の小中学校の先生、関係機関の担当者が参加しました。

講義では、高次脳機能障がいとはどのような症状か、またその対応法について私たちの身近な状況を例に取りながらわかりやすく説明いただきました。



また、橋本先生も初めて実施した「学校での公開リハビリ」を、生徒、先生等と一緒に参加し、高次脳機能障がいの方への接し方について体験することができました。

今回の研修会において、教育・福祉・医療が連携しネットワークを形成することの必要性を改めて認識することができたこと、そして、高次脳機能障がいは誰にでも起こりうることであり、当事者を取り巻く周りの人が正しく認識することで、誰もが住み慣れた地域で安心して過ごすことができるような地域づくりを進めていくことの重要性を学びました。

赤い羽根共同募金の報告

落合中央町内会 6,800円

真心のこもったあたたかい募金をいただき、ありがとうございました。



社協へのあたたかいご寄付ありがとうございます

幾 寅 曾 慶 乙 公 様 50,000円 社会福祉協議会運営のために

下 金 山 齊 藤 孝 子 様 100,000円 故 齊藤勝彦様生前のご厚志に対するお礼として

富良野市 辻 澤 強 様 50,000円 社会福祉協議会運営のために

幾 寅 幾寅診療所所長 藤 井 幹 雄 様
1,000,000円 介護技術研修会等開催のために

下 金 山 鈴 木 テル子 様 100,000円 故 鈴木正治様生前のご厚志に対するお礼として

幾 寅 山 田 東 樹 様
上 野 達 郎 様 200,000円 故 上野ヒデ様生前のご厚志に対するお礼として